

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ASTEP LABO			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 28日 ~ 2026年 2月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数)	29名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 28日 ~ 2026年 2月 6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 13日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や経験、資格の有無を問わず意見を言い合える事業所の風土	<p>日々のミーティングやケース検討の場では、必ず複数の視点から子どもの姿を共有し、「この子にとって今何が最善か」という問い合わせを軸に対話をしています。発言の機会が偏らないよう進行を工夫し、若手支援者の気づきも積極的に取り上げることで、多角的な見立てを促しています。</p> <p>また、意見交換の際には「まず受け止める」「否定から入らない」という共通ルールを明確にし、安心して発言できる心理的安全性を大切にしています。ケース振り返りやヒヤリハットの共有も定期的に行い、小さな違和感を言語化する習慣を根づかせています。</p>	<p>「質の向上」と「仕組み化」の両面から強化していきたいと考えています。</p> <p>支援者会議では、「事実・解釈・仮説・次の支援」を整理する共通フォーマットを活用し、感覚的な議論に偏らない精度の高い見立てを行っていきたい。また、ファシリテーターを交代制にすることで、若手支援者の主体性や対話力も育てていきたい。</p> <p>心理的安全性のさらなる向上のために、定期的な振り返りや簡易アンケートを通して「意見を言いやすい環境か」を可視化し、改善につなげていきたい。あわせて、ヒヤリハットだけでなく好事例も共有し、「学びの共有」として前向きな学習文化をより一層定着させていきたいと考えています。</p>
2	支援者間の連携 (「誰が関わっても同じ質」を実現するための連携体制)	<p>口頭での引き継ぎだけに頼らず、すべての支援内容や気づきを記録として残し、いつでもどこでも確認できる体制を整えています。活動の様子、子どもの発言や行動の変化、保護者からの連絡事項などを時系列で蓄積することで、情報の抜けや認識のズレを防いでいます。</p> <p>また、記録は単なる事実の羅列ではなく、「その時の見立て」や「次の対応方針」まで明確に残すことを意識しています。</p> <p>日々の短時間ミーティングや定期的なケース共有の場を設け、記録だけでは伝わりにくいニュアンスや背景も補足しています。情報を“残す”だけでなく、“共有し、すり合わせる”ことを大切にすることで、チームとして同じ方向を向いた支援を実現しています。</p>	<p>記録の質をより高める取り組みを進めていきたい。具体的には、「事実・見立て・支援意図・次の一手」を整理する共通フォーマットを導入し、誰が記録しても一定水準の情報が残る仕組みを強化していきたい。</p> <p>重要ケースについては月次で小さなレビューを行い、「支援が計画通り機能しているか」「見立てに修正が必要か」を振り返る時間を意図的に設けていきたい。記録を“残すもの”から“活用するもの”へと発展させていきます。</p> <p>さらに、保護者共有用のサマリーのようなものを定期的に作成し、家庭と同じ情報基盤を持てるようにすることで、事業所内連携と家庭連携をつなげていきたい。記録・対話・振り返りを循環させる体制を、より精度の高いチーム支援へと高めていきたいと考えています。</p>

3	多種多様な活動プログラム	<p>多様な活動を実現するために、年間・月間計画の段階で5領域を一覧化し、偏りが出ないようバランスを確認しています。活動後には振り返りを行い、次の計画へ反映させています。</p> <p>また、同じねらいでも制作・運動・調理・外出など方法を変えて構成し、さまざまな子どもが参加しやすい入口を用意しています。長期休暇には実生活に近い体験活動を取り入れ、活動後には「好き・苦手・またやりたい」を言語化する機会を設け、自己理解につなげています。</p>	<p>活動ごとに「どの力を育てるのか」をより明確にし、個別支援計画との紐づけを強化していきたい。集団活動であっても、一人ひとりのねらいが意識される構成へと高めていきます。</p> <p>また、子ども自身の興味の変化を定期的に把握するため、簡単なアンケートや振り返りシートを活用し「今の関心」や「挑戦してみたいこと」を計画に反映していきたい。体験が一過性で終わらないよう、継続的な発展活動へつなげる仕組みも整えていきます。</p> <p>地域資源や外部講師の活用など、新しい刺激を取り入れながら体験の質を高め、子どもが自分の可能性に気づける機会をより広げていきたい。</p>
---	--------------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への情報発信や働きかけが十分とは言えず、マニュアルや安全体制、各種取り組みが「実施しているが十分に伝わっていない」状態であること	日々の支援業務に注力するあまり、情報発信や広報を「後回し業務」として扱ってしまう構造が要因と考えられる。また、情報が点在しており、保護者が「どこを見れば何が分かるのか」が明確でないことも、周知不足につながっている。	情報発信を“業務の一部”として位置づけ、年間広報計画を策定し、マニュアル・安全体制・自己評価・支援のねらい等を定期的に発信していきます。SNSをフル活用するだけでなく、リンク集や固定投稿などを活用し、アクセスしやすい動線を整備していく。
2	新たなサービスを展開する一方で既存サービスの質向上や効果の可視化が十分に整理されていない点	新規サービス導入（発達検査等）が目的化しやすく、「今ある支援の質をどう高めるか」という視点の整理が十分でない可能性がある。	新規サービス拡充と並行して、既存支援の質向上を目的とした内部評価・ケースレビュー・満足度分析を実施し、「量」ではなく「質」の改善指標を明確にしていく。発達検査などの専門的取り組みも、単独サービスではなく日々の支援改善にどう還元するかを明確化し、循環型の質向上体制を構築していく。
3	支援者同士で意見を出し合える風土はあるものの、育成が体系统化されておらず、個々の経験や自主性に委ねている部分があること	日々の支援業務が優先され、育成を「時間があれば行うもの」として扱ってしまう構造が要因です。また、OJT中心で進めてきたため、到達目標や評価基準が明確でなく、成長段階が可視化されにくい点が課題	育成を“仕組み”として位置づけ、段階別の育成指標や到達目標を明確にしていきます。ケース検討や振り返りを計画的に組み込み、見立て力・記録力・対話力などの専門性を意図的に高めていく。また、や外部研修の計画的導入、スーパービジョンの活用により、個人依存ではない組織的な育成体制を構築していく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		ASTEP LABO						
		公表日 2026年2月13日						
		利用児童数 2026年1月30日時点：34名 回収数 26名						
(単位：%)								
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	96			4	<ul style="list-style-type: none"> ●活動部屋とお静かルームが分かれています、またスペースも広く、本人が気持ちを切り替えやすい環境があると理解しています。 ●広々としていて、よく動く息子にとつては有り難いスペースです。 	以下、別紙参照
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	81			19	<ul style="list-style-type: none"> ●普段どのくらいの人数を配置されているのか知らない。 ●実際の支援の様子は見たことがないのでは分かりません。 ●活動を間近で見たことがないので分かりませんが、基準を満たした数は配置いただいていると思うので適切であるとは感じています。 ●いつもありがとうございます！ ●送迎の際も息子の様子をお知らせ頂けるので、安心致します ●適切な配置で外出の時もしっかり安全を保ってくれているので安心です。 	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	88			12	<ul style="list-style-type: none"> ●イラスト提示をしていただくことで、以前よりは本人も理解して活動に参加できていると思いますが、どの空間で何をするかまでは理解ができないかは分かりません。 ●必要であれば写真や絵カードで視覚的にわかりやすく表示してくれています。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96			4	<ul style="list-style-type: none"> ●内覧会以降、中に入っていないので分かりません。 ●明るく清潔で広々している環境はとても素晴らしいと思います。 ●置スペースが一角あり療育の合間に心地よく過ごしています。 	
5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96	4			<ul style="list-style-type: none"> ●とても親切に対応していただきありがとうございます。 ●特性への理解は素晴らしい、彼に合わせた言葉掛けやスケジュール等の配慮もいただき感謝しています。そのような配慮が専門性のある支援ではありますが、まだ活動に参加できなかったり、本人が支援を受け入れれない部分もあるのではと感じています。知的や自閉的おひなディはみんなそれぞれだと思うので、集団療育で同じ目的やねらいを満たすことは難しいことだと思います。本人に合わせたステップでねらいや目的を定めていただき、そこを日々評価していただければ嬉しいです。 ●いつもご配慮下さりありがとうございます！ ●息子の様子(障害)を理解して下さり、各職員様が接して頂いております。 ●とても理解があって本人もとても安心して過ごしています。 特性に応じた対応はもちろんの事、時には相談に乗ってもらったり親身に対応してもらっています。 		

適切な支援の提供	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96	4			●LINEや療育日誌、Googleフォトでの連絡が密でとても評価するべき取組だと思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100				●保護者の意見を真摯に受け止めてくださった内容で作成されていると思います。 ●モニタリングの際も分かりやすく説明して下さり、家での様子も伝えると、それに対しての計画を立てて下さると思います。 ●アクセスメントを十分に取ってくれます。あらゆることを加味した上で支援計画が製作されています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	88	9	3		●家族支援や移行支援に設定されている内容については満たしていないと思っています。 ●子供に対しても支援して頂いており、親のお仕事の都合でも時間調整して下さい、支援して頂いております。 ●各項目十分な具体性があり分かりやすく表記されています。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100				●初期からホームページ上で公開される通り、計画に沿ってサービスが提供されています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88	7		5	●活動内容は工夫されていて素晴らしいです！ ●療育日誌より、このプログラムに対してどう向き合っていたのか？写真や動画を通じて、色々な楽しみ方をさせて頂いております。 ●とても丁寧日々の活動で支援の目的や意図も含めて共有いただいているところが信頼につかながらる点だと思います。 ●特性に応じて活動へ参加できるよう細やかにプログラムされてると思います。時にはイベントもありクリスマスには支援者さんによるアンサンブル演奏会もありました。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	38	15	30	17	●学校が他市になることもあります、交流機会はありません。学校で地域交流があるくらいです。 ●アステップ同士では交流あるが、それ以外の所との交流は不明 ●他施設との交流は無かったように思います。ASTEP内では合同の運動会あり年々盛り上がりを感じます。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96	4			●必ず事前にお知らせを頂いてます。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100				●モニタリングも普段の家の本人の関わり方が難しいことなども時間をとって下さり、説明もして頂いております。 ●毎回丁寧にご説明頂いています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35	23	3	39	●親子での参観や一緒にできる活動があると本人は喜びます。また保護者がいるところで、子供いつもと違った1面が生まれる可能性があるとおもいました。 ●今年初めて研修会に参加しました。良い勉強の機会となりました。またあれば参加したいと思います。	

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	89	11		●LINEや送迎でやりとりが出来ています。 ●LINEで送ったちょっとしたメッセージもスタッフ間で周知されています。LINEが使えるのでタイムリーに共有できています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	96	4		●学校での姿や家庭での姿、ディでの姿と色々ある中での困りごとがあつたりします。総合的に内容を把握して助言いただければありがとうございます。 ●相談したら即対応してくれています。いつも対応が早くとても心強いです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	96	4		●子どもの特性や育児の大変さを受容共感し、将来を見据えてご支援して下さっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	19	31	●参加したことがありません。 ●年1回程度保護者会があつてもいいと思います。 ●保護者交流をしてみたいです。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	81	7	12	●相談や申入れは適宜受け付けてくれていて満足してますが、場があるという質問だとどちらともいえないとなってしまいます。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	93	7		●日頃はLINEや送り時の玄関先でコミュニケーションを取っています。様々な情報の受け渡しができて安心です。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	84	9	7	●SNSの発信力は高いと思います。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96	4		●詳しい状況が分からないので。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	65	11	24	●各マニュアルについてよく知らないです。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	92	4	4	●非常災害時の施設以外の避難先がどこか分からないです。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	96		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	77	4	4	●何かあれば丁寧にご対応して下さっています。	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100			●毎回、楽しみにしております。 ●大変気に入って通所しています。	

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	86	10	4	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉が出ないのではっきりとはわかりませんが、いつも笑顔で帰ってきます。 ●利用日をとても楽しみにしており、その日にどんな活動をしたのか楽しそうに報告することが多いです。 ●行くまでに嫌がることはあっても行けば楽しめていることがありますは有難く、これからもっと慣れていけば楽しみになるかなと期待してあたます。 ●とても好きです。 ●楽しみにしそうでCASTEP休みの日が大変です。朝からとにかく行きたそうにしています。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100			<ul style="list-style-type: none"> ●個別性に合った支援をしてもらえており、本人も楽しそうに通えているので満足しています。 ●外出や身体を動かす活動があるのが嬉しいです！ ●息子の帰ってきた様子で伝わってきます。アステップラボとしっかり、紙に書いて喜んでおります。 ●大変満足しています。毎回どんな様子だったかLINEの療育日誌、写真動画、送迎の申し送りでとてもよく分かります。 	

自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ●いつも温かく丁寧に支援して頂き感謝しております。 ●いつもありがとうございます。支援者の皆様のお顔と名前を覚えるのが大変なので何か分かるものがあれば有り難いです。 <p>また、学校が地域でない息子が唯一関われる地域のお友達や環境となりますので、長い時間をかけてこれから自分の居場所として安心できる場所になってほしいなど願っています。家族にとっても通所は精神的な支えとなり感謝しています。これからも、利用する子ども達一人一人に合った支援をどうぞよろしくお願い致します。前進し続けるASTEPに期待しています！</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いつもありがとうございます！ ●いつも、お世話になっております。 <p>息子が帰ってくると楽しかった様子を先生の名前を聞いており、言葉や紙に書いて伝えてくれます。活動も毎回、親でも、こういった事をすると本人の理解や手先などに繋がるのかーと関心して療育日誌を読ませて頂いております。療育日誌の内容も息子の様子が細かく書いて下さっているのと、今後とも~していきますと次の目標へと繋げて下さっている日誌なので、ありがとうございます。</p> <p>色々と丁寧に息子に向き合って頂き、ありがとうございます</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いつもご支援ありがとうございます。本人楽しく通えています。今後ともよろしくお願いします。 ●何より子どもが楽しく通っています！特性もあり最初どうなるか心配でしたがお任せして良かったと思っています。これからも長期休暇にはいろんな場所へお出かけや調理活動をおこなって欲しいです。アステップのお友だちや支援者の皆様と共に過ごす時の力は想像よりも大きく、こんな所に行けたんだ、こんなのも食べたんだ、という新たな発見が多くこちらは驚きの連続でした。また時には個別に対応してもらったり、ちょっとしたことでも相談にも乗ってもらったりと細やかなご対応に大変感謝しております。今後も「楽しい」を大切に通ってくれたらなと思います。よろしくお願い致します。 ●家庭療育についての知見がほしい。

保護者等からの事業所評価の集計結果			
事業所名	ASTEP LABO	2026年2月13日	
		2026年1月30日時点: 34名	回収数: 26名
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<p>●活動部屋とお静かルームが分かれている、またスペースも広く、本人が気持ちを切り替えやすい環境があると理解しています。</p> <p>●広々としていて、よく動く息子にとっては有り難いスペースです。</p>	<p>活動部屋とお静かルームを分けている点や、広さについて安心していただいていることを大変うれしく感じております。発達支援の現場では、「活動とクールダウンの空間を明確に分けること」が気持ちの切り替えや自己調整を促すうえで有効であるとされており(構造化支援の考え方)、お子さまが安心して過ごせているというお声は、現在の環境設定が適切に機能している一つの指標だと受け止めています。</p> <p>今後も、単に「広い空間」を維持するだけでなく、</p> <p>①活動量の高いお子さまが安全に身体を動かせる動線の確保 ②視覚的な区切りや掲示の整理による集中しやすい環境づくり ③気持ちが高ぶった際に自分から移動できるクールダウンスペースの明確化</p> <p>を継続して整えてまいります。また、成長に伴い活動内容や身体の使い方も変化していくため、定期的に空間の使い方を見直し、その時々の発達段階に合った環境へ調整してまいります。</p> <p>引き続き、お子さまが安心して思いきり活動でき、必要なときには自分で気持ちを整えられる環境づくりに努めてまいります。</p>
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	<p>●普段どのくらいの人数を配置されているのか知らない。</p> <p>●実際の支援の様子は見たことがないので分かりません。</p> <p>●活動を間近で見たことがないので分かりませんが、基準を満たした数は配置いただいていると思うので適切であるとは感じています。</p> <p>●いつもありがとうございます！</p> <p>●送迎の際も息子の様子をお知らせ頂けるので、安心致します。</p> <p>●適切な配置で外出の時もしっかり安全を保ってくれているので安心です。</p>	<p>職員配置について率直なご意見をいただきありがとうございます。「実際の人数が分からない」「支援の様子を見たことがないため判断が難しい」とのお声は、保護者の皆さまにとって当然のご不安であり、事業所として丁寧にお伝えしていく責任があると受け止めています。一方で、安心していただいているお言葉や、送迎時の共有を評価してくださっていること、大変ありがとうございます。</p> <p>現在、当事業所では国の基準を満たした人員配置を行っており、特に外出時や活動量の高い場面では安全確保を最優先に、子どもたちの特性や人数に応じて柔軟に職員体制を調整しております。しかしながら、「見えにくい安心」は十分とは言えません。</p> <p>①活動の様子が具体的に伝わるよう記録や写真(可能な範囲で)の共有を工夫すること ②ご希望に応じて見学や活動公開の機会を検討すること</p> <p>を検討してまいります。</p> <p>引き続き、安全性と専門性の両立を大切にしながら、「基準を満たしている」だけでなく「実感として安心できる」体制づくりに努めてまいります。</p>
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<p>●イラスト提示をしていただくことで、以前よりは本人も理解して活動に参加できていると思いますが、どの空間で何をするまでは理解ができないかは分かりません。</p> <p>●必要であれば写真や絵カードで視覚的にわかりやすく表示してくれています。</p>	<p>このたびは、環境の構造化や視覚的支援について丁寧なご意見をいただきありがとうございます。イラスト提示によって活動理解が進んでいるとのお声を大変うれしく受け止める一方で、「どの空間で何をするかまで理解できているかは分からない」というご指摘は、私たちがさらに工夫を重ねるべき大切な視点だと感じております。</p> <p>発達支援においては、視覚的な手がかり(写真・絵カード・表示)とあわせて、「場所と活動が一对一で結びつく環境設定(構造化)」が、見通しの理解や主体的な行動につながるとしています。現在も必要に応じて写真や絵カードを活用しております。</p> <p>①各空間に「何をする場所か」がひと目で分かる表示の明確化 ②活動前に場所を示しながら説明する事前予告の徹底 ③活動終了後に振り返りを行い「この場所で〇〇をした」という経験を言語と視覚で結び直す支援を強化してまいります。また、空間の用途が曖昧にならないよう、家具配置や動線も定期的に見直してまいります。</p> <p>設備面についても、お子さまの特性に応じた環境調整(刺激量の調整、静かな空間の確保、情報提示の工夫等)を継続し、「分かるから安心できる」環境づくりをさらに高めてまいります。</p>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<p>●内覧会以降、中に入っていないので分かりません。</p> <p>●明るく清潔で広々としている環境はとても素晴らしいと思います。</p> <p>●畳スペースが一角あり療育の合間に心地よく過ごしています。</p>	<p>内覧会以降、実際の様子をご覧いただく機会がなく分かりにくいとのお声は当然のことと受け止めており、日々の環境が見えにくいことがご不安につながる可能性についても真摯に受け止めております。一方で、明るく清潔で広々としている点や、畳スペースが心地よい居場所になっているとのご評価は大変ありがとうございます。</p> <p>清潔で整った環境は、子どもたちの安心感や集中の持続に大きく関わるため、日々の清掃や衛生管理を徹底するとともに、活動内容や子どもたちの様子に応じて空間を柔軟に調整しております。畳スペースについても、気持ちを落ち着かせる時間や小集団での関わりなど、目的をもって活用しております。今後は、日々の活動や空間の使い方がより具体的に伝わるよう発信の工夫を重ね、必要に応じて見学の機会も検討しながら、成長段階に応じた環境の見直しを継続してまいります。引き続き、安心して心地よく過ごせる環境づくりに努めてまいります。</p>
	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<p>●とても親切に対応していただきありがとうございます。</p> <p>●特性への理解は素晴らしい、彼に合わせた言葉掛けやスケジュール等の配慮もいただき感謝しています。そのような配慮が専門性のある支援ではありますが、まだ活動に参加できなかつたり、本人支援を受けていない部分もあるのではと感じています。知的や自閉的なレイディはみんなそれぞれだと思うので、集団療育で同じ目的やねらいを満たすことは難しいことだと思います。本人に合わせたステップでねらいや目的を定めいただき、そこを日々評価していただければ嬉しいです。</p> <p>●いつもご配慮下さりありがとうございます！</p> <p>●息子の様子(障害)を理解して下さり、各職員様が接して頂いております。</p> <p>●とても理解があって本人もとても安心して過ごしています。特性に応じた対応はもちろんの事、時には相談にも乗ってもらつており親身に対応してもらっています。</p>	<p>お子さまの特性に合わせた言葉かけやスケジュールの工夫に安心していただいていること、またご相談にも信頼を寄せくださっていることを大変ありがとうございます。一方で、「活動に参加しきれていない部分があるのでは」「本人のペースに合ったねらいの設定と評価をしてほしい」というご指摘は、とても重要な視点だと受け止めております。</p> <p>ASTEPでは、特性理解に基づく環境調整や開拓方に加え、「小さなステップで目標を設定し、評価し、次につなげること(スマールステップと形成的評価)」を意識的に行実してあります。集団療育の中でも全員が同じ到達点を目指すのではなく、お子さま一人ひとりの発達段階に応じて個別のねらいを明確にし、その達成度を日々振り返りながら支援を調整していくことが専門性の根幹だと考え、目標設定やねらいを持って活動しております。</p> <p>今後は、活動ごとの個別目標をより具体化し、できたこと・難しかったこと・次の歩きを丁寧に可視化しながら、保護者の皆さまに共有できるよう努めてまいります。</p> <p>また、支援を「受け入れる力」そのものも発達のプロセスの一部であるため、無理に参加を促すのではなく、安心感を土台に主体性が育つ開拓を大切にしてまいります。引き続き、お子さまの特性を深く理解しながら、ご家庭とも連携し、一歩ずつ確かな成長につながる支援を積み重ねてまいります。</p>

6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●LINEや療育日誌、Googleフォトでの連絡が密でとても評価するべき取組だと思います。 	<p>LINEや療育日誌、Googleフォトを通じて活動の様子を丁寧に共有している点を評価していただけたことは、支援内容の透明性を大切にしてきた私たちにとって大変励みになります。</p> <p>支援プログラムは「掲げている内容」と「実際の支援」が一致していることが何より重要だと考えております。そのため、活動のねらいや支援意図が日々の記録や写真から具体的に伝わるよう心がけております。単なる出来事の報告にとどまらず、「どのような力を育てるための活動だったのか」「どのような配慮を行ったのか」が分かる発信を今後も意識してまいります。</p> <p>引き続き、支援内容と公表プログラムの整合性を大切にしながら、見える支援・伝わる支援を積み重ねてまいります。</p>
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者の意見を真摯に受け止めてくださった内容で作成されていると思います。 ●モニタリングの際も分かりやすく説明して下さり、家での様子も伝えると、それに対しての計画を立てて下さってると思います。 ●アセスメントを十分に取っててくれます。あらゆることを加味した上で支援計画が製作されています。 	<p>保護者のご意見を真摯に受け止めた内容になっていること、モニタリング時の説明が分かりやすいこと、ご家庭での様子を踏まえて計画に反映されていること、そして丁寧なアセスメントを行っていることを感じていただけている点は、私たちが大切にしている支援の根幹に関わる部分であり、大変励みになります。</p> <p>個別支援計画は、事業所内に見えてる姿だけではあるのではなく、ご家庭や学校での様子、保護者のニーズ、本人の得意・苦手、生活上の困りごとなどを多面的に捉えた上で、目標と支援方法を具体化し、定期的に評価・見直しを行うことが重要だと考えております。今後も、保護者の皆さまからいたぐる情報を大切にしながら、目標が抽象的になりすぎないよう「何ができるようになったら次の段階か」が分かれる形で整理し、モニタリングの場では支援の意図と根拠、結果の見立てを丁寧に共有してまいります。引き続き、ご家庭との連携を土台に、お子さまの成長が実感できる計画づくりと支援の積み重ねに努めてまいります。</p>
8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、内容の上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●家族支援や移行支援に設定されている内容については満たしていないと思っています。 ●子供に対しても支援して頂いており、親のお仕事の都合でも時間調整して下さり、支援して頂いております。 ●各項目十分な具体性があり分かりやすく表記されています。 	<p>本人支援の具体性や分かりやすさについて評価していただけたこと、また時間調整など実務面での配慮を感じていただけていることは大変ありがとうございます。一方で、家族支援や移行支援の内容が十分ではないと感じられている点は、重要な課題として真摯に受け止めております。</p> <p>ガイドラインでは、「本人支援」だけでなく、「家族支援」「移行支援」も計画上に明確に位置づけ、具体的な内容として示すことが求められています。今後は、家族支援については相談機会の明確化や家庭で活用できる具体的な関わり方の提案などを計画書上に明示し、移行支援については学校や関係機関との連携、次の環境への準備内容などをより具体に整理してまいります。また、実際に行っている支援が計画書上で十分に表現できていない可能性もあるため、実態と記載内容の整合性を改めて見直してまいります。</p> <p>今後は5領域がバランスよく具体化され、保護者の皆さまにも「何を、なぜ行っているのか」が明確に伝わる計画づくりをさらに意識し、より実効性のある支援へと高めてまいります。</p>
9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●初期からホームページ上で公開されてる通り、計画に沿ってサービスが提供されています。 	<p>支援が計画に沿って提供されているとのご評価をいただき、ありがとうございます。ホームページで公表している内容と実際の支援が一致していると感じていただけていることは、日々の実践が計画と結びついている証として大変励みになります。</p> <p>ASTEPにおいては、個別支援計画を単なる書類にとどめず、日々の活動内容や関わり方に具体的に反映させることが重要だと考えております。そのため、活動のねらいと計画上の目標がつながるよう支援者間で共有を徹底し、日々の記録や振り返りの中で達成状況を確認しながら支援を調整しております。</p> <p>今後も、公表している理念や支援方針と実践の整合性を大切にし、計画に基づいた一貫性のある支援を継続してまいります。</p>
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●活動内容は工夫されていて素晴らしいです！ ●療育日誌より、このプログラムに対してどう向き合っていたのか？写真や動画を通して、色んな楽しみ方をさせて頂いております。 ●とても丁寧日々の活動で支援の目的や意図も含めて共有しているところが信頼につながる点だと思います。 ●特性に応じて活動へ参加できるよう細やかにプログラムされてると思います。時にはイベントもありクリスマスには支援者さんによるアンサンブル演奏会もありました。 	<p>療育日誌・写真・動画を通してお子さまの取り組み方や楽しみ方まで伝わっていることは、私たちにとって大きな励みです。また、支援の目的や意図を含めた共有が信頼につながっているとのお言葉も、大切に受け止めております。</p> <p>活動が固定化しないためには、単に内容を変えるのではなく、「ねらいは継続しつつ方法を変える」視点が重要だと考えております。同じ力を育てる場合でも、教材や形式、関わり方を調整することで、お子さま一人ひとりの特性や成長段階に合った参加の形をつくることができます。イベントや季節行事、演奏会などの体験も、楽しさだけでなく、社会性や感情表出、共同体験の機会として位置づけています。</p> <p>今後も、支援の目的を明確にしながら、子どもたちの反応や成長を踏まえて内容を柔軟に見直し、日々の実践が形骸化しないよう工夫を重ねてまいります。引き続き、楽しさと発達的意義の両立を大切にしたプログラムづくりに努めてまいります。</p>
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のことなど活動する機会がありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●学校が他市になることもあります、交流機会はありません。学校で地域交流があるくらいです。 ●アステップ同士では交流あるが、それ以外の所との交流は不明 ●他施設との交流は無かったように思います。ASTEP内では合同の運動会あり年々盛り上がりを感じます。 	<p>学校が他市にあることや、外部との交流機会が見えにくいことについてのご指摘は、現状を見直す大切な視点として受け止めております。一方で、ASTEP内での合同運動会などの取り組みに前向きなお声をいただけていることは、大変ありがとうございます。</p> <p>現状としては、安全面や移動負担、参加児童の特性への配慮を優先する中で、外部施設との定期的な交流機会は多くは設けられておりません。しかし、放課後等デイサービスガイドラインにおいても、地域とのつながりや社会参加の機会は重要な視点とされており、今後の課題であると認識しております。今後は、無理のない形で地域資源を活用した外出活動や公共施設の利用、地域イベントへの参加などを検討しながら、段階的に社会的経験の幅を広げていただけるよう取り組んでまいります。</p> <p>同時に、事業所内の合同活動についても、単なる行事にとどまらず、異年齢交流や集団適応力の育成という視点を明確にしながら発展させていきたいと考えております。今後も安全と発達段階への配慮を前提に、子どもたちが地域とゆるやかにつながる機会づくりを模索してまいります。</p>
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ●必ず事前にお知らせを頂いてます。 	<p>事業所としては、制度や費用、支援内容は保護者の皆さまが納得したうえで利用していただくことが前提であると考えております。そのため、契約時だけでなく、変更や追加事項が生じた際にも事前にお知らせし、ご不明点が残らないよう説明することを心がけております。今後も、専門用語に偏らず分かりやすい表現でお伝えするとともに、ご質問しやすい雰囲気づくりを大切にしながら、透明性の高い運営を継続してまいります。</p>

13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ●モニタリングも普段の家の本人の間わり方が難しいことなども時間をとって下さり、説明もして頂いております。 ●毎回丁寧にご説明頂いています。 	<p>モニタリングの際にご家庭での間わりの難しさについても時間をかけて共有し、それに基づいた説明がなされていると感じていただけていることは、計画が実態に即して機能している一つの指標であり、大変励みになります。</p> <p>個別支援計画は、作成して終わりではなく、ご家庭での様子や環境の変化を踏まえて見直しを重ねることで、より実効性のあるものになります。今後も、目標の意図や支援方法の根拠、達成状況や次のステップについて具体的にお伝えしながら、ご家庭と同じ方向を向いて支援が進められるよう努めてまいります。引き続き、対話を大切にした計画説明と共有を心がけてまいります。</p>
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●親子での参観や一緒にできる活動があると本人は喜びます。また保護者がいることで、子供いつもと違った1面が生まれる可能性があるとおもいました。 ●今年初めて研修会に参加しました。良い勉強の機会となりました。またあれば参加したいと思います。 	<p>親子で参観や一緒に活動できる機会があると嬉しいとのお声、また研修会が学びの機会になったとのお言葉を大変ありがたく受け止めております。</p> <p>ご指摘の通り、保護者の方がいる場面では、お子さまの新たな一面が見られたり、間わり方のヒントが具体的に共有できたりする意義があります。今後は、日常療育の一部を公開する参観日や、親子参加型の活動機会を計画的に設けることを検討してまいります。また、ペアレント・トレーニングの視点を取り入れ、家庭で実践しやすい間わり方や環境調整のポイントを具体的にお伝えする機会を増やしていきたいと考えております。</p> <p>研修会についても、単発で終わるのではなく、テーマを明確にしながら継続的な学びの機会として整えてまいります。今後も、ご家庭とともに歩む支援を大切にしながら、実践につながる家族支援の充実に努めてまいります。</p>
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●LINEや送迎でやりとりが出来ています。 ●LINEで送ったちょっとしたメッセージもスタッフ間で周知されています。LINEが使えるのでタイムリーに共有できています。 	<p>タイムリーに状況を共有できていること、また小さなメッセージも職員間で周知されていると感じていただけていることは、共通理解を築くうえでとても大切な基盤であり、私たちにとって大きな励みです。</p> <p>子どもの健康や発達は日々変化するものであり、ちょっとした体調の変化やご家庭での様子が支援内容の調整につながることも少なくありません、そのため、いただいた情報は職員間で速やかに共有し、支援に反映できる体制を整えております。今後も、単なる報告やりとりにとどまらず、「なぜその対応を行ったのか」「どのような成長が見られたのか」まで共有しながら、ご家庭と同じ視点でお子さまを支えていけるよう努めてまいります。</p>
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●学校での姿や家庭での姿、ティでの姿と色々ある中での困りごとがあります。総合的に内容を把握して助言いただければありがたいです。 ●相談したら即対応してくれています。いつも対応が早くとても心強いです。 	<p>学校・家庭・事業所とそれぞれ異なる姿がある中で、総合的に把握したうえでの助言を望まれていることは、まさに本來あるべき支援の形だと受け止めております。また、相談時に迅速に対応している点を心強いと感じていただけていることは、大変ありがたく思っております。</p> <p>ASTEでは、環境ごとの行動の違いを整理し、「どの場面で・なぜ起きているのか」を機能的に分析することを重要視しております。そのため今後も、面談では単一場面の困りごとにとどまらず、学校・家庭・事業所の情報をつなぎ合わせ、共通する要因や支援の方向性を整理したうえで具体的な助言を行ってまいります。また、定期面談に加え、必要に応じて柔軟に相談機会を設け、早期対応を継続してまいります。</p> <p>引き続き、迅速さと専門的な見立ての両立を大切にしながら、ご家庭が安心して相談できる体制を整えてまいります。</p>
保護者への説明等	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの特性や育児の大変さを受容共感し、将来を見据えてご支援して下さっています。 	<p>お子さまの特性や子育ての大変さに対して受容と共感をもって関わっていると感じていただけていること、そして将来を見据えた支援であると受け止めていただけていることは、私たちにとって何より大切にしている姿勢であり、大きな励みです。</p> <p>行動への対応だけでなく、その背景にある思いや困難さを理解しようとする姿勢が、安心感と信頼関係の土台になると考えております。お子さまに対して、保護者の皆さまに対しても、まずは受け止めることを大切にしながら、長期的な視点で自立や社会参加につながる力を育てていくことを意識しております。</p> <p>今後も、共感を土台としつつ、専門的な見立てに基づいた具体的な支援を積み重ね、ご家庭とともに将来を見据えた歩みを続けてまいります。</p>
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●参加したことがありません。 ●年1回程度保護者会があつてもいいと思います。 ●保護者交流をしてみたいです。 	<p>これまで参加の機会がなかったことや、年に1回程度の保護者会を希望されていること、交流してみたいとの気持ちは、家族支援を充実させていくうえで大変重要な視点だと受け止めております。</p> <p>発達支援の分野では、保護者同士のつながりが心理的負担の軽減や情報共有の場として有効であることが示されています。そのため今後は、参加しやすい形での保護者交流会の開催を検討し、テーマを設けた座談会やミニ研修と組み合わせるなど、安心して参加できる機会づくりを進めてまいります。また、きょうだい見についても、家庭内の役割や思いに配慮した支援の重要性を踏まえ、将来的にはきょうだいも参加できるイベントや交流の場を検討してまいります。</p> <p>ご家庭全体を支える視点を大切にしながら、無理のない形でつながりを広げられる機会を整えてまいります。</p>
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●相談や申入れは適宜受け付けてくれているので満足していますが、場があるという質問だとどちらともいえないとなってしまいます。 	<p>実際の相談や申入れには適宜対応できていると感じていただけていることは大変ありがたく思います。一方で、「そのような場があると明確に示されているか」という点で迷うことがあるとのご指摘は、体制の「見える化」が十分でない可能性を示しており、重要な課題として受け止めております。</p> <p>現在も随時相談を受け付け、迅速な対応を心がけておりますが、相談窓口や対応の流れが明文化され、分かりやすく周知されているかという点については、改めて整理が必要だと考えております。今後は、相談方法や対応手順を明確にし、文書や掲示等で分かりやすくお知らせするとともに、「いつでも相談してよい場である」という安心感が伝わるよう発信を工夫してまいります。</p> <p>引き続き、実質的な迅速対応に加え、体制そのものが保護者の皆さまに伝わるよう整備し、より安心してご相談いただける環境づくりに努めてまいります。</p>
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●日頃はLINEや送り時の玄関先でコミュニケーションを取っています。様々な情報の受け渡しができて安心です。 	<p>LINEや送迎時のやりとりを通じて、必要な情報の受け渡しができていると感じていただけていることは、意思疎通の基盤が機能している証として大変ありがたく受け止めております。</p> <p>発達支援においては、タイムリーで双方向の情報共有が、支援の質を高める重要な要素とされています。そのため、日々の小さな変化やご家庭からのメッセージも職員間で共有し、支援内容に反映できる体制を整えております。今後も、単なる連絡にとどまらず、「どのような意図で聞わったのか」「どのような成長が見られたのか」まで丁寧にお伝えしながら、共通理解をより深めてまいります。</p> <p>引き続き、迅速さと分かりやすさを大切にし、安心してやりとりができる環境を維持してまいります。</p>

21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	<p>●SNSの発信力は高いと思います。</p> <p>SNSでの発信について高く評価していただきありがとうございます。発信力があると感じていただけていることは、日頃の取り組みが保護者の皆さんに届いている証であり、大変読みになります。</p> <p>情報発信は、活動の様子を知っていただくだけでなく、事業所の透明性や信頼性を高める重要な役割を担っていると考えております。今後も、行事予定や活動概要、連絡体制に加え、自己評価の結果や改善に向けた取り組みについても分かりやすく発信し、「何を大切にし、どのようにより良くしようとしているのか」が伝わる内容を心がけてまいります。</p> <p>引き続き、量だけでなく質にも配慮しながら、安心と信頼につながる情報発信を継続してまいります。</p>
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	<p>●詳しい状況が分からないので。</p> <p>「詳しい状況が分からぬ」との率直なお声をいただきありがとうございます。日常的に不安を感じているわけではないものの、具体的な管理方法が見えにくことから判断が難しいというお気持ちであると受け止めております。</p> <p>個人情報の保護は、信頼関係の土台となる極めて重要な責任であり、法令に基づいた管理体制の整備、書類やデータの保管方法の徹底、職員への定期的な研修と守秘義務の確認などを行っております。しかしながら、それらが十分に周知されていなければ安心にはつながりません。今後は、どのような管理体制を整えているのかを分かりやすくお伝えし、情報の取扱いに関する方針や対応手順についても改めて共有してまいります。</p> <p>引き続き、適切な管理を徹底するとともに、「守られている」と実感していただけるよう、透明性のある説明を心がけてまいります。</p>
非常時等の対応	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	<p>●各マニュアルについてよく知らないです。</p> <p>安全に関わる重要な事項であるにもかかわらず、内容や体制が十分に伝わっていない可能性があることを真摯に受け止めております。</p> <p>ASTEPでは、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等に関するマニュアルを策定し、支援者間で共有するとともに、定期的な訓練を実施しております。災害や不審者対応、感染症発生時の動きなどについても、実際の発生を想定した確認や振り返りを行い、安全管理体制の維持向上に努めております。しかしながら、それらの内容や訓練状況が保護者の皆さんに十分伝わっていないければ、安心にはつながりません。</p> <p>今後は、各マニュアルの概要や訓練実施状況を分かりやすくまとめ、通信や説明の機会を通して共有してまいります。引き続き、安全を最優先にしながら、体制の整備と見える化の両面を大切にしてまいります。</p>
	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	<p>●非常災害時の施設以外の避難先がどこか分からぬです。</p> <p>お子さまをお預かりする立場として、万が一の際の対応が明確に伝わっていないことは、安心につながらない重要な点であると受け止めております。</p> <p>ASTEPでは、地震や火災等を想定した避難訓練を定期的に実施し、支援者間で役割分担や動線の確認を行っております。また、災害状況に応じて施設外の指定避難場所へ移動する体制も定めております。しかしながら、その具体的な避難先や判断基準が十分に共有されていない可能性があるため、今後は避難場所の名称や想定される流れ、連絡方法について分かりやすくお知らせしてまいります。</p> <p>引き続き、訓練の実施とあわせて情報の見える化を進め、保護者の皆さんが非常時にも落ち着いて行動できるよう、安心につながる体制づくりを徹底してまいります。</p> <p>※緊急避難場所は、向陽小学校となります。</p>
	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	
	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	<p>●何かあれば丁寧にご対応して下さっています。</p> <p>速やかな連絡や状況説明が安心につながっていることを大変ありがとうございます。</p> <p>事故対応においては、まず安全確保と必要な応急対応を最優先とし、そのうえで速やかに保護者へ連絡し、発生状況・対応内容・今後の見通しを具体的にお伝えすることが重要だと考えております。また、再発防止の観点から、職員間での振り返りと環境や支援方法の見直しを行い、同様の事例を未然に防ぐ取り組みを継続しております。</p> <p>今後も、迅速と分かりやすさを大切にしながら、万が一の際にも信頼していただける対応を徹底してまいります。</p>
	こどもは安心感をもって通所していますか。	<p>●毎回、楽しみにしております。</p> <p>お子さまが安心感をもって通所できていることは、私たちにとって何より大切な指標であり、大きな励みです。</p> <p>安心できる環境と信頼できる人間関係が土台となってはじめて、新しいことへの挑戦や社会性の育ちが促されると考えております。楽しみに通っているということは、活動内容だけでなく、支援者との関係性や環境設定が安定して機能している証でもあります。</p> <p>今後も、この安心感を大切にしながら、ただ「楽しい」だけでなく、「できた」「分かった」「自信がついた」という実感につながる支援を積み重ねてまいります。引き続き、お子さまが前向きな気持ちで通える場でありますように努めています。</p>
	こどもは通所を楽しみにしていますか。	<p>●言葉が出ないのではっきりとはわかりませんが、いつも笑顔で帰ってきます。</p> <p>●利用日をとても楽しみにしており、その日にどんな活動をしたのか楽しそうに報告することが多いです。</p> <p>●行くまでに嫌がることはあっても行けば楽しめていることがまずは有難く、これからもっと慣れていけば楽しみになるのかなど期待してあたます。</p> <p>●とても好きです。</p> <p>●楽しみにしそうでASTEP休みの日が大変です。朝からとにかく行きたそうにしています。</p> <p>笑顔で帰ってこられる様子や、活動を楽しそうに報告してくれる姿、また「とても好き」「休みの日も行きたがる」とのお話から、事業所での時間が安心と楽しさのある場になっていることを大変嬉しく受け止めております。</p> <p>一方で、行く前に気持ちが揺れることがあるとのご様子も、決して珍しいことではありません。環境の切り替えが苦手なお子さまにとっては、出発前の不安と、到着後の安心が同時に存在することもあります。通所後に楽しめているという事実は、環境や関わりが適切に機能している証でもあります。今後も、見通しを持てる声かけやスケジュール提示を工夫し、通所前の不安軽減にも配慮してまいります。</p> <p>また、言葉での表出が難しい場合でも、表情や行動は大切なサインです。笑顔や安定した様子を丁寧に観察し、楽しさや安心感が継続するよう支援を重ねてまいります。引き続き、「楽しい」気持ちを土台にしながら、成長につながる経験を積み重ねられるよう努めてまいります。</p>

29	事業所の支援に満足していますか。	<ul style="list-style-type: none"> 個別性に合った支援をしてもらえており、本人も楽しそうに通えているので満足しています。 外出や身体を動かす活動があるのが嬉しいです！ 息子の帰ってきた様子で伝わってきます。アステップラボとしっかり、紙に書いて喜んでおります。 大変満足しています。毎回どんな様子だったかLINEの療育日誌、写真動画、送迎の申し送りでとてもよく分かります。 	<p>お子さまが楽しそうに通えていること、帰宅後の様子から充実感が伝わっていること、そして活動内容や日々の記録が具体的に分かること感じていただけていることは、私たちにとって何よりの励みです。</p> <p>個別性に合わせた支援や、外出・身体活動の機会を大切にしている点を評価していただけたことも嬉しく思います。「その子しさ」を尊重しながら成功体験を積み重ねること、そして実体験を通して心と身体の発達を促すことを重要視しております。また、楽しさの中にもうまい所を見つけて、達成感や自己肯定感につながる活動を意識してまいりました。</p> <p>療育日誌や写真・動画、送迎時の申し送りを通して支援の過程が伝わっていることは、計画と実践が結びついている証でもあります。今後もこの透明性を大切にしながら、満足という評価に甘んじることなく、より質の高い支援へと磨きをかけてまいります。引き続き、お子さまの成長をともに喜び合える関係を大切にしてまいります。</p>
----	------------------	--	--

自由意見	<ul style="list-style-type: none"> いつも温かく丁寧に支援して頂き感謝しております。 いつもありがとうございます。支援者の皆様のお顔と名前を覚えるのが大変なので何か分かるものがあれば有り難いです。 また、学校が地域でない息子が唯一関わる地域のお友達や環境となりますので、長い時間をかけてこれから自分の居場所として安心できる場所になってほしいと願っています。家族にあっても通所は精神的な支えとなり感謝しています。これからも、利用する子ども達一人一人に合った支援をどうぞよろしくお願ひ致します。前進し続けるASTEPに期待しています！ いつもご支援ありがとうございます！ いつも、お世話をになっております。 <p>息子が帰ってくると楽しかった様子を先生の名前を聞いており、言葉や紙に書いて伝えてくれます。活動も毎回、親でも、こういった事をすると本人の理解や手先などに繋がるのかーと関心して療育日誌を読ませて頂いております。療育日誌の内容も息子の様子が細かく書いて下さっているのと、今後ともへしていきますと次の目標へと繋げて下さるる日誌なので、ありがとうございます。</p> <p>色々と丁寧に息子に向き合って頂き、ありがとうございます！</p> <ul style="list-style-type: none"> いつもご支援ありがとうございます。本人楽しく通えています。今後ともよろしくお願ひします。 何より子どもが楽しく通っています！特性もあり最初どうなるか心配でしたがお任せして良かったと思っています。これからも長期休暇にはいろんな場所へお出かけや調理活動をおこなって欲しいです。アステップのお友だちや支援者の皆様と共に過ごす時の力は想像よりも大きく、こんな所に行けたんだ、こんなのも食べれたんだ、という新たな発見が多くこちらは驚きの連続でした。また時には個別に応対してもらったり、ちょっとしたことでも相談にも乗ってもらったりと細やかなご対応に大変感謝しております。今後も「楽しい」を大切に通ってくれたらなと思います。よろしくお願ひ致します。 家庭療育についての知見がほしい。
管理者から	<p>このたびは、たくさんのお言葉と率直なご意見をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。お子さまが楽しく通えていること、帰宅後に先生の名前を挙げながら様子を伝えてくれていること、療育日誌から活動のねらいや成長のつながりを感じていただけていることは、私たちにとって何よりの励みです。また、ご家族にあっても通所が精神的な支えになっているとのお言葉は、支援の意義を改めて実感させていただくものでした。</p> <p>支援者の顔と名前が分かる工夫については、写真付きの職員紹介掲示や配布資料など、覚えやすく安心につながる方法を検討してまいります。地域とのつながりや「居場所」としての役割についても、長期的な視点で大切に育てていきたいと考えております。学校が地域外であるお子さまにとって、ここが地域との接点となる意味は大きく、安心できる関係性を時間をかけて築いてまいります。</p> <p>長期休暇中の外出活動や調理活動についても、楽しさの中に社会経験や生活スキルの育ちを位置づけながら、引き続き充実させてまいります。「こんなことができた」という発見は自己効力感を高める大切な経験ですので、安全面に配慮しつつ機会を広げていきます。また、家庭療育についての知見を求めるお声も重要なご提案として受け止めています。今後は、ご家庭で無理なく取り入れられる間わり方や環境調整のポイントを、面談や通信等を通して具体的にお伝えできるよう工夫してまいります。</p> <p>そして何より、日頃より温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。日々のご連絡やご相談、家庭での様子の共有があつてこそ、私たちはより適切な支援を行なうことができております。事業所の支援は、保護者の皆さまとの信頼関係と連携の上に成り立っています。今後も感謝の気持ちを忘れず、ともにお子さまの成長を支えていける存在であり続けられるよう努めてまいります。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ASTEP LABO	公表日	2026年2月13日		
(単位: %)					
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0	適切な利用定員だと思います。	階段の場所がすごく不便で見る目が余計に必要になっているが広さ的には問題ないと思う。 土曜日は人数が多いと感じることがある
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50	50	支援員の人数が多いだけが良いわけではなく、支援の内容や関わり方を大切にすることで、支援員の休みが重なることがあっても、その都度話し合いを行い、子どもの安全を確保した適切な配置ができていると思います。	日によってや児童のその日の調子、活動によっては手に負えない日もあったりする。日誌やトイレ誘導で抜けると少なく感じる職員が欠席になる場合などは、少ないと感じる時もある。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100	0	お静かリーム横の引き戸は、子どもが開け閉めできないようにし、安全に過ごせる環境を整えたいと思います。	手洗いの動線が掴みづらいと思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	50	50	パーテーションを導入したい。 クールダウンするために落ち着ける静かな場所を確保したい。(一階に移動するには支援員の配置的に難しいことがあるため)	トイレトレーニングについて、ご家庭では行わず事業所での対応を希望される保護者もおられますか、療育現場の衛生面を考えると、難しいと思います。 掃除が行き届いていない場所がある。
業務改善	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	84	16	個別の部屋や場所を使用できる環境だと思います。 状況に応じて、お静かリームや相談室など使用している。 ホワイトボードを使って、活動をしている様子は見えるけど空間は区切っているなど工夫している。	
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100	0	職員間では話しやすい雰囲気があり、それぞれの思いや考え方について意見交換が行われています。その中で、PDCAサイクルは取り組めていると思います。 振り返りを行い、活動の進め方などを改善している。	他の支援者がどのように取り組んでいるのか知らないため。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	今、保護者向け評価表(アンケート)を実施中のため、業務改善はまだ分かりませんが、モニタリングでの保護者の声は共有され、改善の話し合いは行われています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	先ほども記入しましたが、職員間では話しやすい雰囲気があり、日頃から意見交換を行い、その内容を業務改善につなげていると思います。	
	9 第第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	100	児童担当者からの評価等は伝えられている時もあります。	私が入職してからは、第三者による外部評価の実施は確認できていません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0		

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0	職員が多く出勤する日に会議を行い、アセスメントをもとに個別支援計画の見直しを行っています。 保護者と一緒に振り返り共有しながら作成している。	全てに目を通せていないので△しっかり確認します
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	内容の確認と訂正・共有がされています。 支援員会議を行い、多角的な視点で意見を出し合えている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0	毎朝活動内容の共有と配置、さらに内容や動きを固めていくための会議を行えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	固定化しないよう工夫はしていますが、結果として内容が似通った活動になる場合もあると感じています。 週の活動を見て制作や公園などが被り過ぎないようになど考えて活動を決めています。 領域に差があるように感じているが、内容は固定化されていない。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0	次の日に行っています 振り返りは、次の日に行なっている。場合によっては、別の仕事をしながらも、その日の振り返りなど話す機会もある。プログラムなどは、意見が欲しい場合など、前日や前もって伝えることもある。	長期休暇はできていないことがある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100	0	もっとワクワクを引き出せるように努力します！	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0	自己決定ができるように支援を行っているつもりですが、十分な支援ができているかは課題だと感じています。 活動にどのように参加するかも、背中を押しつつも自分で選べるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0		

関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	84	16	地域の相談支援員とは連携が取れていると思います。 各児童によって、保護者からの共有・学校の先生からの共有を得ている。	事業所自体が医療や保育との連携をとっているかはわからないです。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100	0		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	34	66	管理者や児発管が中心となり、相互理解に努めていると思います。	保育園や幼稚園からの共有はないように思います。あると嬉しいです。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50	50		まだそこに至ってないので、わからない。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100	0		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	34	66	ASTEP間では土曜のみあるが、その中でも児童によって偏りがある（土曜利用児童のみ） 長期休暇に年に数回ある。 事業所との交流など。	現時点では、該当する交流の機会はありません。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	84	16		参加している可能性もありますが、現時点では把握できていません。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	送迎の際に保護者へ、その日の様子を伝え合い、子どもの状況について共有しています。 送迎の際に保護者へ、その日の様子を伝え合い、子どもの状況について共有しています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100	0	特別そういう場を設けることはないが、送迎の際などに相談を受けて対応することはある。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0	送迎時に保護者から子育ての悩みについて相談を受けることがたまにあります。内容は職員間で共有し、その後の送迎時には、担当職員が助言ができるよう意識して関わっています。 LINEや送迎時などいつでも相談できる状態にあると思います。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	100		入職してから約9か月の間では、そのような交流の場は見られていませんが、それ以前に実施されていたかどうかは分かりません。 実施がない。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100	0		
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0		個別ファイルの棚に鍵がかかっていないときがある。

非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	私自身思う事は、情報伝達を視覚支援ばかりに頼るのではなく、子どもの理解力や状況に応じて、言葉での説明が可能な場合には、口頭でのコミュニケーションを心がけています。それがもししかしたら配慮に欠けているかも知れません。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	100		地域に開かれた行事の実施は確認できていませんが、入職以前の状況については分かりません。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50	50		業務継続計画（BCP）はありますが、非常災害を想定した訓練は定期的には実施されていないと思います。 避難訓練として児童の避難の練習はしているが、玄関が使えない場合など、あらゆる状況を想定した訓練は実際にしたことはない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0	毎週振り返りを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100	0		

自由意見	<p>●児童との関わり方について、職員間で対応や受け止め方に違いを感じことがあります。</p> <p>児童が注意された時には、支援員に対して「嫌い」「ブス」などの強い言葉を使うことがあります。その言葉に戸惑ってしまい、結果的に児童の要求を受け入れてしまったり、気持ち悪さに落ち込んでしまう職員もいると思います。</p> <p>言葉そのものに振り回されるのではなく、どのように受け止め、関わっていくかを職員同士で話し合えたら良いと思います。</p> <p>また、対応に悩んでいる職員に気付いた時には、互いにフォローし合える関係でいられたらとも思います。</p> <p>難しいとは思いますが、時々ある全体研修での事業別で話し合いの機会とかあれば嬉しいです。</p> <p>●事業所間で日によってはトラブルなどから締め作業が遅くなったりということがあると思います。私は向日市とLABOでの所属経験がありいつでも対応できますし（その日の日誌の内容に関しては触れられませんが、誤字脱字文章がおかしくないかや名前間違等のチェックはできます。）これから新しい方も入られて送迎など2人体制で行かないといけないなども発生してくると思います。その中で、土曜日以外でも日誌のPDFやアルバムの協力が必要になってくると思っています。</p>
------	--